



通常例会
司会
点鐘 12:30
国歌「君が代」「奉仕の理想」 斉唱
乾杯
今月の祝・表彰
☆会員誕生：相澤孝夫君、池田紀夫君、小林あや君
☆夫人誕生：望月一将君、土屋久君、吉池裕一君
☆結婚祝：越場達祐君、百瀬正容君、太田隆治君、高波雄一郎君
☆皆出席：佐々木清夫君 (32 年) 眞峯透君 (15 年)

ホテル・ブエナビスタ
眞峯会場監督副委員長
小林正樹会長
小林正樹会長

巡回、監視を徹底するよう心掛けています。
少し重い話になりましたので一般的な話に戻しますと、救急車が要請を受けてから現場に到着するまでの平均時間は、全国平均で8.9分(令和2年度)です。呼吸や心臓が止まった人が助かる可能性は、時間とともに低くなり、救急車が到着するまでの間に一般市民による一次救命処置が行われることが重要になります。一次救命処置をした場合、心臓が止まってからAEDの電気ショックまでの時間が、4分以内だと救命(蘇生)の可能性が50%に対し、居合わせた人が救命処置をしなかった場合は20%以下に低下、一次救命処置の成否が命運を分けることがあると言えます。



会長挨拶 小林会長
桜もGWもあっという間に終わり、今週はコロナ感染症も5類に引き下げられ、社会経済が動き出した感があります。

私はGWの3分の1は「安全水泳」の講習会開催に充てることになりました。スイミングクラブ協会信越地区の安全水泳委員長を務めている関係ですが、直近の4月22日、富山県のスイミングスクールで5歳のお子さんがプールで溺れて亡くなるという痛ましい事故があり、その直後でもあり県内各所から参加したスイミングコーチやスタッフはいつもにも増して緊張感をもって救急蘇生法を中心とした講習会を受講しました。講習で学ぶことは事故が起きてからの対処法で、市民が行う「一次救命処置」という医師または救急隊に引き継ぐまでの処置、手当になります。内容は心肺蘇生とAEDで、胸骨圧迫30回と人工呼吸2回の組み合わせ手技を中心に徹底的に行ないます。そして医療機関における処置、治療を「二次救命処置」といいますが、事故の予防、早期の発見が何より大切なことです。したがってプールはじめ、風呂場、更衣室等の

AEDは「Automated External Defibrillator」日本語では「自動体外式除細動器」と呼ばれますが、突然の心停止は、心臓が細かく震えだす心室細動という不整脈によって生じることが多く、心臓を正常な動きに戻すためには電気ショックによる「除細動」が必要になります。心室細動になった傷病者では、心停止から電気ショックまでの時間が、救命の成否を決定する最も重要な因子になります。AEDは止まった心臓を動かす装置と思いがちですが、心臓を止める(正しくは心室細動を止める)装置であると言えます。

- 幹事報告 靱山副幹事**
1. 5月のロータリーレートは1ドル136円です。
 2. 次年度計画書作成にあたり、各自、名簿欄の名前・住所等の確認をお願いします。変更、訂正のある方は至急事務局にお送りください。
 3. 次年度各委員会の委員長予定者の皆様は計画書の作成に当たり、各委員会方針についての原稿の提出をお願いしています。未提出の皆様は大至急提出をお願い致します。ご不明な点は、次年度の会長幹事が事務局までお問い合わせ下さい。
 4. 次週5月19日は、生蓮寺での移動例会です。
 5. 例会変更については、引き続き感染予防の観点から現在どのクラブでもビジター受付は実施されていません。ご了承ください。

出席委員会報告 村山委員長
本日5月12日 欠席10名 出席率約66.67%
ニコニコBOX報告 永田副委員長
・岡崎東クラブ 50周年記念式典に19人と大勢の皆様が参加していただきありがとうございました。北澤君

